

株式会社ナガホリ 株主の皆様へ



NAGAHORI

**臨時株主総会
招集ご通知 補足説明資料**

株式会社ナガホリ
2023年3月1日

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、3月16日（木）に、臨時株主総会を開催することを予定しております。本臨時株主総会では、新任取締役の選任（会社提案）、現任取締役全員の解任（株主提案）及び新任取締役の選任（株主提案）の議案を株主の皆様にお諮りさせていただきます。

現在、当社の現任取締役は、当社の企業価値の向上や株主の皆様共同の利益に繋げるため、2022年9月に公表した新中期経営計画「To the next Growth」の実行を着実に進めるべく、目下、日々多大な努力を傾注しています。

新中期経営計画においては、①「ガバナンス強化に向けた取組み」の推進、②各社内・グループ間での適材適所の人材活用と効率的な配置、③利益率の改善と継続的な経費削減を通じた収益改善、等の施策を掲げております。

また、当社のコーポレートガバナンスをさらに向上させ、取締役会の構成・スキルセットにつき多様性を一層確保する観点から、本臨時株主総会において、弁護士洲桃麻由子氏を取締役候補者として提案させて頂くことといたしました。連結内部統制の強化及び法令を遵守したコンプライアンス経営の推進について深い知識・経験を有する洲桃麻由子氏は、当社の全ての株主の皆様を含むステークホルダーの利益に貢献することができる社外取締役として適任であると考えております。

一方で、提案株主であるリ・ジェネレーションが提案する取締役候補者については、いずれも当社取締役としての資質・適格性に強い疑義があり、当該取締役候補者による経営が行われた場合には当社のブランド・イメージや信用に回復し難い損害を与え、当社の企業価値を毀損し得るものであると考えております。

また、リ・ジェネレーションは現任取締役全員の解任も提案しておりますが、当社としては、現在の経営陣及び取締役会から成るチームが最適であると考えており、当社取締役会は全ての株主提案に反対しております。

株主の皆様におかれましては是非とも会社提案に賛成、株主提案に反対の意思表示をしていただき、ご支持・ご理解賜れますと幸甚に存じます。

株式会社 ナガホリ
代表取締役社長 長堀 慶太

- 本臨時株主総会において、下記の議案を株主の皆様にお諮りいたします

会社提案

第1号議案 取締役1名選任の件
(洲桃 麻由子氏)

第2号議案 取締役 長堀 慶太 の解任の件

第3号議案 取締役 吾郷 雅文 の解任の件

第4号議案 取締役 白川 文彦 の解任の件

第5号議案 取締役 川村 忠男 の解任の件

第6号議案 取締役 富樫 直記 の解任の件

第7号議案 取締役 長沢 伸也 の解任の件

第8号議案 取締役4名選任の件
(尾端 友成氏、佐藤 彩奈氏、菅原 勝治氏、吉澤 孝明氏)

株主提案

取締役会として、第1号議案に**賛成**しております。

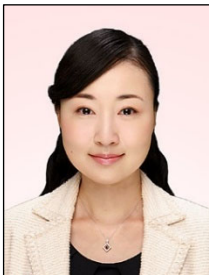
取締役会として、これらの議案に**反対**しております。

賛成

取締役会としては、第1号議案に**賛成**いたします。

● **当社の新任社外取締役候補として、洲桃麻由子氏の選任議案を本臨時株主総会へ会社提案として上程いたします**

- 洲桃麻由子氏は、株主提案に係る取締役候補者とは異なり、当社の事業の特性も踏まえつつ、当社の全ての株主の皆様を含むステークホルダーの利益に貢献することができる社外取締役として適任であると考えております

氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位 及び重要な兼職の状況、担当	所有する当社の株式数
<p>すもも まゆこ 洲桃 麻由子 (1977年5月3日)</p>  <p>新任</p> <p>社外</p> <p>独立</p>	<p>2001年10月 第一東京弁護士会登録、西村総合法律事務所(現 西村あさひ法律事務所)入所</p> <p>2009年2月 ニューヨーク州弁護士登録</p> <p>2015年1月 すもも法律事務所開設 代表弁護士(現任)</p> <p>2016年7月 地主アセットマネジメント株式会社 コンプライアンス委員会外部委員(現任)</p> <p>2021年6月 東京都下水道サービス株式会社 社外監査役(現任)</p> <p>2022年6月 株式会社リセ 社外監査役(現任)</p>	-

＜社外取締役候補者とした理由及び期待される役割等＞

洲桃麻由子氏は、企業法務を専門とする国際弁護士として長年に亘って培われた専門的知識を有していることに加え、他の事業会社の社外役員やコンプライアンス委員会の外部委員を歴任されております。このような高度な知見と経験を、女性の視点や国際的な視点も含めて、中期経営計画「To the next Growth」の実行、連結内部統制の強化及び法令を遵守したコンプライアンス経営の推進など、当社グループの成長に不可欠な分野に活かして頂けることが期待できるため、新たに当社の社外取締役として選任をお願いするものであります。

株主提案に対する当社意見

▶ 株主提案の理由要旨と当社見解

反対





取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

- リ・ジェネレーションが主張する本株主提案に至った理由について、いずれも当社の認識と異なっております

リ・ジェネレーション主張要旨

- 1 ① 当社の経営成績が低迷している
- 2 ② 女性役員の登用が遅れている
- 3 ③ 当社の「大規模買付行為等への対応方針」の導入が当社の現経営陣の保身的態度を示すものである
- 4 ④ 当社の子会社の仲庭時計店の従業員不祥事への対応が不適切である

当社見解

- 1 ①  直近期末は連結ベースで最終黒字を確保しており、2023年3月期の(予想)営業利益は2015年3月期以降最高の水準となる見込み
- 2 ②  本臨時株主総会において、女性取締役を候補者として上程
- 3 ③  本対応方針の導入は、2022年6月の定時株主総会において、株主の皆様にお諮りし承認いただいております。当社経営陣の保身には該当しない
- 4 ④  当該不祥事は、全て外部の弁護士も関与して適正に調査を行った上で解決済み(報告要旨は同封の招集ご通知別紙ご参照)

株主提案に対する当社意見

▶ 当社業績の推移



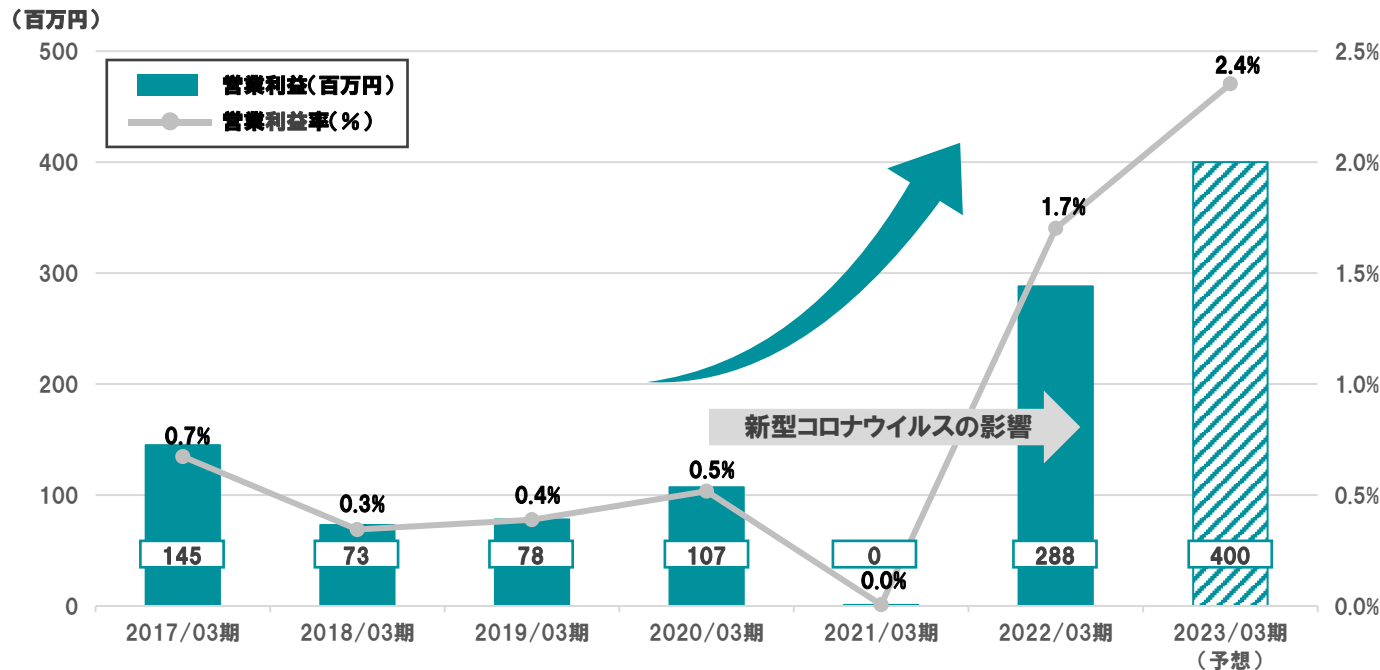
反対

取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

● 当社の経営成績が「**深刻な低迷状態**」にあるというリ・ジェネレーションの主張は誤りです

- 2022年3月期は、コロナ禍の影響が残る中にも拘らず、**当社は連結ベースで最終黒字を確保しております**
- また、不採算店舗撤退、営業所閉鎖、グループ間での人員再配置など各種施策を実行し収益構造の改善を図っており、2023年3月期の(予想)営業利益は2015年3月期以降**最高の水準となる見込み**です

当社の営業利益及び営業利益率推移



株主提案に対する当社意見

▶ 具体的な経営方針の有無



反対

取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

● リ・ジェネレーションは当社の経営支配権奪取後の具体的な経営方針や企業価値向上策を示しておりません

- ・ 当社は2022年9月29日付で**中期経営計画「To the next Growth」**を公表し、その遂行のために日々多大な努力を傾注している最中です
- ・ 一方、リ・ジェネレーションは、当社の経営支配権の奪取を企図しているにも拘らず、当社の企業価値向上につながる**具体的な経営方針や経営計画を全く持ち合わせておりません**

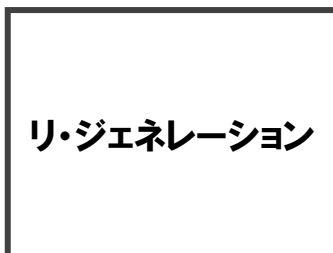


2022年9月29日

中期経営計画
「To the next Growth」
を公表

本中計の主な施策

- ▶ 「ガバナンス強化に向けた取組み」の推進
- ▶ 各社内・グループ間での適材適所の人材活用と効率的な配置
- ▶ 利益率の改善と継続的な経費削減を通じた収益改善



2022年11月21日

本総会の請求書面において
「中期経営計画の公表を頑なに拒み続けており」
と明らかな事実誤認を記載

当社の企業価値の向上に何らの興味も関心もない
かつ
具体的な経営方針を持ち合わせていない

株主提案に対する当社意見

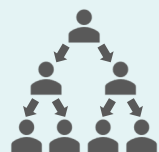
▶ 尾端友成氏の経歴

反対

取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

- **リ・ジェネレーションの代表であり、株主提案取締役候補者の尾端友成氏は、当社の取締役としての適格性を有していません**

尾端氏の経歴



マルチビジネスへの関与

尾端氏は、行政機関から特定商取引法に基づく行政指導や取引等停止処分を受けたマルチビジネスを営む複数の会社の取締役等を歴任しており、長年に亘って**マルチビジネスに携わってきた経歴**を有することが明らかな人物です。



金融商品取引法違反の行為

尾端氏が代表を務めるリ・ジェネレーション株式会社(提案株主)は、大量保有報告書・変更報告書の提出を2週間以上に亘って遅延しておりました。また、保有目的の変更に係る変更報告書を提出する義務があったにも拘らず、当該義務を現在に至るまで怠り、**金融商品取引法に違反**しているほか、同様の義務違反は尾端氏ないし提案株主が関与する複数の法人でも繰り返されており



上場企業の役員としての適性不足

過去、尾端氏は自身が唯一の代表者であって100%株主であるプラスワンホールディングス株式会社をして臨時株主総会の招集請求を行わせ、アサヒ衛陶株式会社の代表取締役社長に就任したものの、「一身上の都合」を理由として、**わずか約2か月で辞任**しています(同社取締役についても約3か月で退任しています)。

取締役としての資質・適格性に強い疑義

当社の取締役になった場合当社の信用とブランド・イメージを大きく毀損する懸念

株主提案に対する当社意見

▶ 尾端氏を含む株主提案取締役候補者のマルチビジネスへの関与







反対

取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

● 尾端氏以外の株主提案に係る取締役候補者3名のうち、尾端氏の部下である佐藤氏以外の2名はマルチビジネスに関与しています

- 本株主提案が可決された場合、当社の取締役会は、長年マルチビジネスに関与してきた**尾端氏**と、マルチビジネスに関与した経歴を有する**菅原氏**と**吉澤氏**とを併せて、**取締役4名のうち3名がマルチビジネスに関与した経歴を有することになります**

第8号議案(株主提案) 取締役候補者

候補者名	候補者の経歴(一部抜粋)	
 社内 尾端 友成氏	長年に亘ってマルチビジネスに関与	マルチビジネス に関与
 社内 佐藤 彩奈氏	尾端氏の部下(尾端氏は、佐藤氏が執行役員を務めている(株)オアノエンターテインメントの代表取締役で、かつ、同社は尾端氏が100%株式を保有しているプラスワンホールディングス(株)の完全子会社)	
 社外 菅原 勝治氏	①特定商取引法違反で行政処分を受けたマルチビジネスのARKの特別顧問、②株式会社Zの危機管理対策室担当と表示、③アサヒ衛陶では、尾端氏が代表を務める会社らによって取締役に擁立され同氏と共に取締役に選任されるも、同氏と共に約3か月で退任(その間のアサヒ衛陶の取締役会には7回中5回、監査等委員会には2回中1回欠席)	マルチビジネス に関与
 社外 吉澤 孝明氏	特定商取引法違反で行政処分を受けたマルチビジネスのARKの顧問税理士	マルチビジネス に関与

株主提案に対する当社意見

▶ 尾端氏以外の株主提案取締役候補者と尾端氏の関係性



反対

取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

● 尾端氏以外の株主提案に係る取締役候補者3名は尾端氏の部下であるか、同氏の強い影響下にあります

- 本株主提案が可決された場合、当社の取締役会は尾端氏とその部下であるか、同氏の強い影響下にある3名のみで構成されることになり、実質的に当社の経営支配権は尾端氏らに奪取されることとなります

尾端 友成氏

100%

プラスワンホールディングス(株)

代表取締役
尾端 友成氏

尾端氏の影響下

特別顧問
菅原 勝治氏

顧問税理士
吉澤 孝明氏

100%

(株)オアノエンターテインメント

代表取締役
尾端 友成氏

尾端氏の影響下

執行役員
佐藤 彩奈氏

顧問税理士
吉澤 孝明氏

第8号議案(株主提案)
取締役候補者

社内
尾端 友成氏

社内
佐藤 彩奈氏

社外
菅原 勝治氏

社外
吉澤 孝明氏

独立性に疑義

尾端氏の強い影響下にある両名は執行から独立した立場で社外取締役としての監督機能を発揮することは期待できない

株主提案に対する当社意見

- ▶ リ・ジェネレーション自らの私的利益の追求を目的とした株主提案



反対

取締役会としては、第2号～第8号議案に**反対**いたします。

- リ・ジェネレーションによる株主提案は自らの私的利益の追求を目的としていることが強く疑われ、株主の皆様共同の利益が害されるおそれがあります

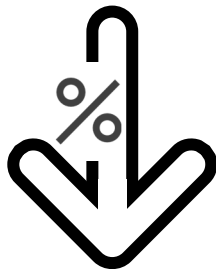
リ・ジェネレーションの前歴



リ・ジェネレーション(旧N&Mマネジメント)は、過去、他の上場会社の株式を取得して経営支配権を実質的に掌握した上、大規模な希釈化を伴う新株及び新株予約権を自らと関係のある者に対して第三者割当発行し、これを最終的には売却する等した前歴がある



当社企業価値毀損の恐れ



リ・ジェネレーションが当社の経営支配権を奪取した場合、自らと関係を有する者に利益を供与することを目的とした、大規模なエクイティ・ファイナンス等を実施するために当社が利用され、その結果、大規模な希薄化等により、**当社の企業価値が毀損され、株主の皆様共同の利益が害される**ことになるおそれもあるのではないかと懸念

● 尾端氏が代表を務め、同氏が100%株主のプラスワンホールディングスは、過去、恒常的に赤字状態に陥っており、尾端氏自身に経営能力がないことは明白です

- 公表されているプラスワンHDの2017.12期～2019.12期の経営状態は極めて悪く債務超過に陥っており、また(2020.12期～2021.12期は会社法で開示を要するとされている決算公告を怠っているため、不明)

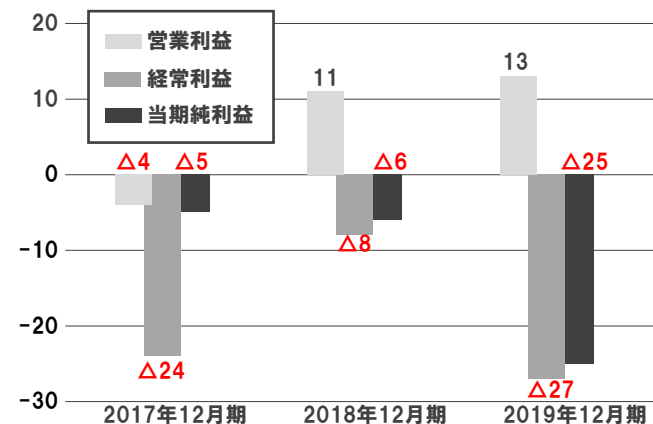
プラスワンHDの業績

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
売上高	52	109	166
営業利益	△4	11	13
経常利益	△24	△8	△27
当期純利益	△5	△6	△25

* 単位:百万円

恒常的な赤字状態

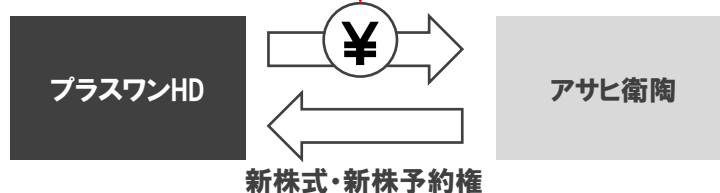
(単位:百万円)



● 過去、プラスワンHDが引き受けた株式の引受資金に関して不透明な点があります

- 過去、アサヒ衛陶が発行した新株式及び新株予約権を、当時債務超過に陥っていたプラスワンHDが引き受けておりますが、その資金の元手がどこであるか不透明です

取得資金の元手が不明



リ・ジェネレーションの当社買付資金について

同じく尾端氏が代表を務めるリ・ジェネレーションは、当社株式の取得に際し、合同会社STAND UP GROUPから無担保で買付資金を借りておりますが、こちらについても、どのように資金を返済するのか不透明です

- 当社はリ・ジェネレーションへ質問状を送付し、株主の皆様のご判断に有用・必要と考えられる事項の回答を求めています但未回答の事項が多くあります

当社からの質問(抜粋)

- ▶ マルチビジネスを行っていた複数の企業における、尾端氏のマルチビジネスへの関与の有無について
- ▶ 尾端氏とマルチビジネス関係者との繋がりについて
- ▶ 尾端氏が代表を務めるプラスワンホールディングスの貸金業法違反の有無について
- ▶ リ・ジェネレーション及びプラスワンホールディングスの変更報告書提出懈怠の疑いについて
- ▶ リ・ジェネレーションに無担保で当社株式の取得原資を提供した合同会社STAND UP GROUPの資金原資について

回答なし

本書作成時点において、具体的な回答は得られず

- 当社はリ・ジェネレーションへ株主提案に係る取締役候補者との面談を打診しましたが拒否されました



面談を打診

当社株主への適切な情報提供を目的として、当社役員と尾端氏を含めた株主提案に係る取締役候補者全員との面談を打診

面談の設定を拒否

当社代表取締役と尾端氏のための1対1の面談に固執し、取締役候補者全員と当社取締役との面談の設定を拒否

リ・ジェネレーション

株主提案に係る各候補者が当社の経営に真摯に携わる意思を有していない

- 株主の皆様におかれましては、会社提案に賛成、株主提案に反対の意思表示をお願い申し上げます

第1号議案に**ご賛同**ください

・第1号議案(会社提案) 取締役1名選任の件

・第2号議案～第7号議案(株主提案) 取締役6名解任の件

・第8号議案(株主提案) 取締役4名選任の件

第2～7号議案・第8号議案に**ご反対**ください

本臨時株主総会は当社の将来を決める重要な株主総会でございます。当社としては、現在の経営陣及び取締役会から成るチームが最適であると考えており、株主の皆様におかれましてはご支持・ご理解賜れますと幸甚に存じます



NAGAHORI

本説明資料に関するお問い合わせ窓口

東京都台東区上野1丁目15番3号
株式会社 ナガホリ
TEL:03-3832-8266